

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2018年4月10日

東京都作業部会確認年月日 2018年4月11日

(契約変更に伴う確認年月日 令和3年1月22日)

(契約変更に伴う確認年月日 令和4年1月19日)

事業名 陸上自衛隊朝霞訓練場の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第一弾（陸上自衛隊朝霞訓練場）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意のとおり、当該事業は国有地における「仮設等のインフラ整備」であり、全て組織委員会の負担 パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく） 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担う 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性 <ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備 射撃競技会場の施設 (令和3年1月7日 契約変更に伴う追記) 実施設計完了に伴う設計変更及び大会延期に伴い生じる追加経費等にかかる対応につき、受注者と協議の結果、現時点で手続きする必要があるもの。 (令和4年1月13日 契約変更に伴う追記) 工事施工、維持管理、撤去復旧に係る設計変更及び大会延期に伴い生じる追加経費等にかかる対応につき、受注者と協議の結果、現時点で手続きする必要があるもの。 	

	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・各 FA 及び IF、OBS 等との協議結果に基づき、国有地を活用 ・コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算 (令和3年1月7日 契約変更に伴う追記) ・追加経費等については原契約や公共労務単価等に基づく単価が算出されている。また、コストコンサルタンの確認を受けている。 (令和4年1月13日 契約変更に伴う追記) ・追加経費等については原契約や公共労務単価等に基づく単価が算出されている。また、コストコンサルタンの確認を受けている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ・予算内に収まる。 ・IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。 (令和3年1月7日 契約変更に伴う追記) ・コストコンサルタンの確認を受けている。 (令和4年1月13日 契約変更に伴う追記) ・コストコンサルタンの確認を受けている。 	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・国有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、パラ経費については公費負担の対象として適切であると考え。 (V2 予算内に収まる) (令和3年1月7日 契約変更に伴う追記) ・実施設計完了に伴う設計変更及び大会延期に伴い生じる追加経費等を含む契約変更を行う。 ・現時点では、大会経費の都の枠内であることを確認できないため組織委員会負担とする。 ・引き続き、経費が最小限のものとなるよ 	

	う抑制・削減に取り組む。 (令和4年1月13日 契約変更に伴う追記) ・V5 予算に収まる。	
--	--	--

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。